

令和2年度 長野県南安曇農業高等学校 学校関係者評価

1 各評価項目のそれぞれの評価の観点についての評価

(評価は5:達成できた、4:ほぼ達成できた、3:改善の余地がある、2:相当の改善を要す、1:判断できない)

評価項目	評価の観点	評価
重点目標 (中・長期的目標)	食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。	4.2
1. 開かれた学校づくり (地域連携)	地域と連携した教育活動および高大連携事業の充実を図るとともに、本校教育活動の地域や保護者への広報活動を充実し開かれた学校づくりを進める。	3.8
2. 安心・安全な学校 (生徒指導・生徒支援)	すべての生徒が安心して学習活動に取り組み、学ぶ喜びと充実感を得られるように生徒指導・生徒支援の充実をはかる。	4.3
3. 学力の向上 (学習指導)	すべての生徒が『分かった』と感じ、学ぶ喜びと充実感を得られるように授業内容の充実をはかるとともに、専門科では学科・コースごとの特性を生かした授業を追求する。	4.5
4. キャリア教育の充実 (キャリア教育・進路指導)	生徒の将来を見据えた3年間の繋がりのあるキャリア教育を作り上げるとともに、卒業時に希望の進学就職ができるように進路指導の充実を図る。	4.5

2 いただいた意見・提言等

<p>今年度はコロナの影響により、休校や行事等の変更・中止が相次ぎ対応に苦慮したと思うが、工夫しながら学習環境を整え、指導に当たったことに対して、敬意を表します。</p>
<p>コースごとに多岐にわたる学習内容を選択でき、取り組めることで、生徒が自らの能力を高めることが出来ていると感じる。</p>
<p>産学官連携も盛んであるため、生徒が校内だけでなく様々な評価（フィードバック）を受け、成長の糧として感じるので、引き続き「開かれた学校づくり」を進めていただきたい。</p>
<p>コロナ禍で伝統ある活動が制限され、「開かれた学校づくり」に対する評価は低くなったが、農家の方との連携による、美術部員が牧草のラッピングに描いた「アマビエ」は地域に元気をくれた。</p>
<p>厳しい状況の中、産学官連携による市内の農産物を使った商品開発プロジェクト等、できることに取り組んだことに評価いたします。</p>
<p>Webシステム等ICTの活用については、広い視野で物事をとらえ、地域の人と深くつながるためにも、更なる活用を望みます。</p>
<p>学校教育目標、重点目標の実現に向け着実に取り組んだ結果、大きな成果をあげている。特に、キャリア教育・進路指導については、生徒の自己実現が図られ素晴らしいと思う。</p>
<p>安曇野市の農業は現下の一般的・全国的高齢化や東京一極集中の傾向を免れていない。また、自然的・地理的有利さを十分活用できていない弱点があり、市も農業関係者とも課題であると感じている。南農の知性と経験、若い力が一段と発揮されることを大いにきたいしています。</p>
<p>「開かれた学校づくり」については十分な活動が出来なかったことは残念だが、学校の感染防止対策は適切で、対策下での教育活動は精いっぱい出来ていたと思います。</p>
<p>来年度から、コロナ対策を行いながらも地域との交流ができる状況になればと願っています。</p>